

「ボッチャ体験教室」が開催されました！

「ボッチャ」は脳性麻痺や手足の不自由な方々のために考案されたスポーツで、子どもからお年寄り、障がいがあるなしにかかわらず楽しむことができるスポーツです。

川辺中学校1年生の生徒がパラリンピック競技のボッチャを現役の選手から学び、ゲームを体験するなかで、競技の楽しさと難しさを体感しました。また、選手の方から直接話を聞くことで、障がいのある方への理解を深め、さまざまな人権意識を学びました。

ボッチャ体験教室(6月 11 日)



現役選手が自己紹介をされました



生徒の皆さん、真剣に説明に聞き入ってます



いざ、試合開始！！



人権擁護委員も興味深げに見学中



ボールまでの距離を測り判定します





「あ、あっち！」思わず手が出ます



試合を楽しんだ後は、選手にたくさん質問しました

「ボッチャを始めたきっかけは何ですか？」「ボッチャが上手になるコツはありますか？」

次から次へを手を挙げて質問する積極的な生徒の皆さんでした



最後は「終わりの会」を行って、2 時間あまりのボッチャ教室は終わりました